

下の句歌留多大会、天人峡で熱戦



3月9、10の両日、天人峡温泉のホテル天人峡パークホテルで、北海道歌留多振興会、旭川赤翼歌留多倶楽部主催の第58回全日本下の句歌留多(かると)大会が開かれました。

道内各地を転戦する下の句歌留多大会恒例のシーズン開幕戦。折から全道を襲った暴風雪の影響で交通が遮断され、稚内、中川など強豪チームが参加出来ませんでした。各地から47チーム約150人が出場しました。上級者A、若手B2部門のチームトーナメント戦。午後9時、夜通しで戦う深夜の熱戦が火ふたを切りました。3人一組のチームで小倉百人一首下の句木札を取り合う戦い。わずかな指先

雪中スノーモービル体験に大喜び



2月19日、道立東川養護学校小学部の児童が雪中スノーモービル遊びを楽しみました。子供たちが毎年楽しみに待っている冬のイベント。今年で20年目になりました。近くの農業、山中仁志さん(66)の広い農地に、42区、梶畑直敏さん(44)、18区、篠原猛さん(40)、北町3、森本大記さん(40)ら仲間の友人が集合。1年生から6年生まで42人を4台のモービルに交互に乗せて、真っ白な雪の中を駆け

回りました。大きなトラクター用古タイヤのチューブ4個を使って作った手作りの特製タイヤチューブボートに乘ったり、勇ましいエンジン音とともに風を切つて雪中を疾走するスピード感

は別世界。運転席と一緒に乗つて雪中ドライブを満喫するなど、子供たちは楽しかった思い出をいっぱいに話めて、山中さんたちに心を入れてお礼の返事を書きました。

忠別ダムサイトで早春の雪遊び

3月2日、忠別ダム水源地域ビジョン「遊ing忠別」(堀内重夫代表)が主催して、忠別ダムサイト広場で第6回冬イベント「雪de遊ぼう」を開きました。

東神楽町、美瑛の近隣町からの親子も一緒に約50人が参加しました。全道的に荒れ模様の天候で、ダムサイトも小雪が舞う一日でしたが、子供

たちはタイヤチューブ滑りで雪の中を転がったり、バナナボートに乗って雪原を疾走し歓声いっばい。

林の中のスノーレッキングでは、キタキツネの足跡を見つげたり、エゾフクロウにも出会いました。木の芽が大きく膨らみ始めた木々に春の足音を感じながら、最後の雪遊びを満喫しました。

